

被災地に電動三輪車

再生可能エネで充電

パシコン

パシフィックコンサルタンツは、岩手県釜石市の早期復興に役立てるため、電動機付き三輪自転車である「シクロポリタン」の運営を、2012年度から始める。同社は釜石市で既に11年度から電動サイクル、電動バイクの運用を

開始している。

東日本大震災の被災地は、津波などで道路の舗装がはがれて安全に歩くことができない場所がある。また、自動車の運転が困難な高齢者も多く、交通弱者も問題となっている。安全に買い物や病院などに行ける日常手段の一つとして、シクロポリタンを活用する。

充電に必要な電気は、太陽光発電や小水力発電など再生可能エネルギーを使う。災害時でも地域のエネルギーを利用できるため、災害に強い交通手段となる。

同社は今年度、釜石市に3台を導入する。

シクロポリタンは03年にフランスのリヨンで誕生、市民

の足として人気を集めていたシクロポリタンについて、シクロポリタンジャパン（本社・東京都墨田区、小川泰生代表取締役）が20日に開

いたシクロポリタンについての記者会見の中で、パシフィックコンサルタンツが発表した。